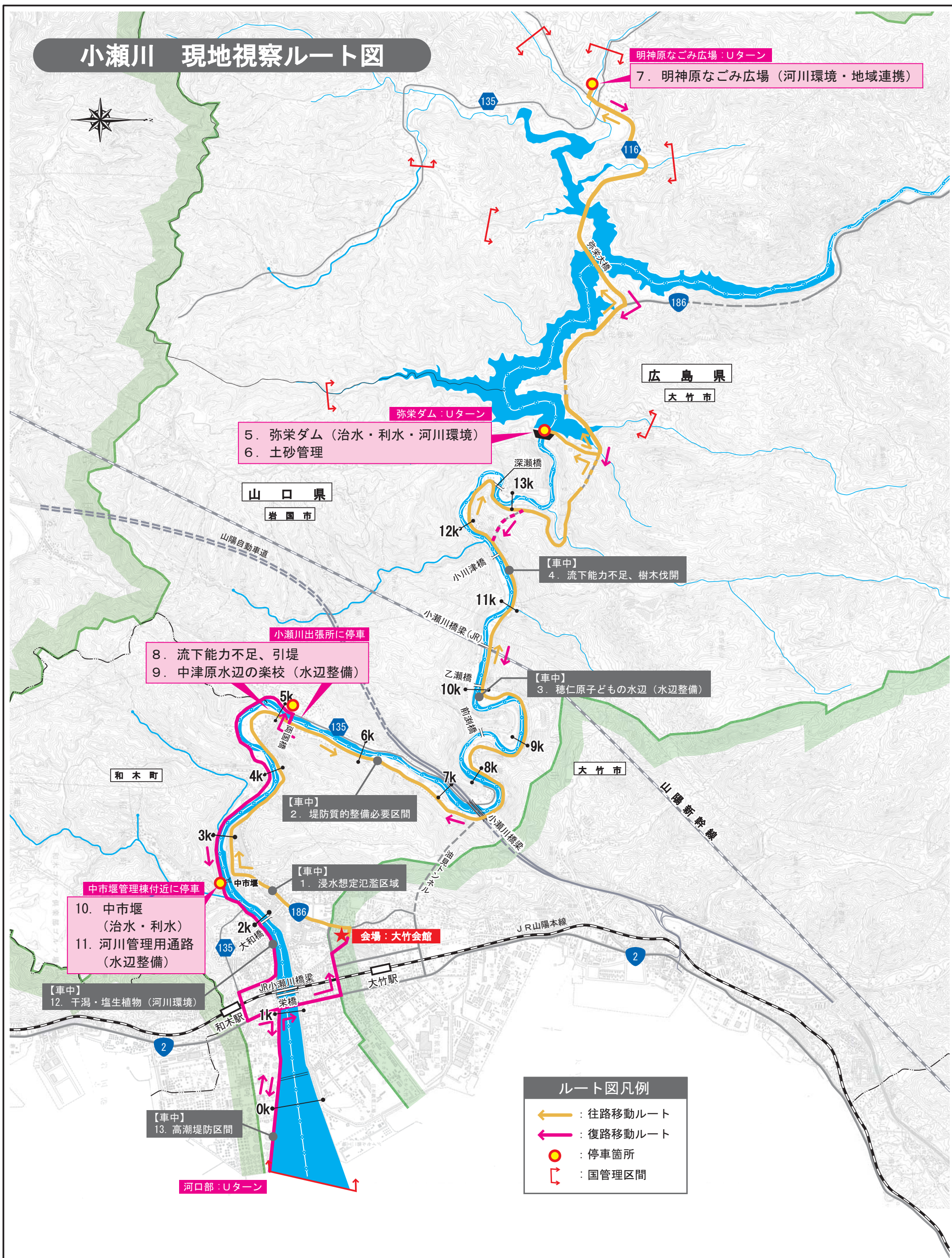


第2回小瀬川河川整備懇談会 ～現地視察資料～

平成22年11月16日

国土交通省 中国地方整備局

小瀬川 現地視察ルート図



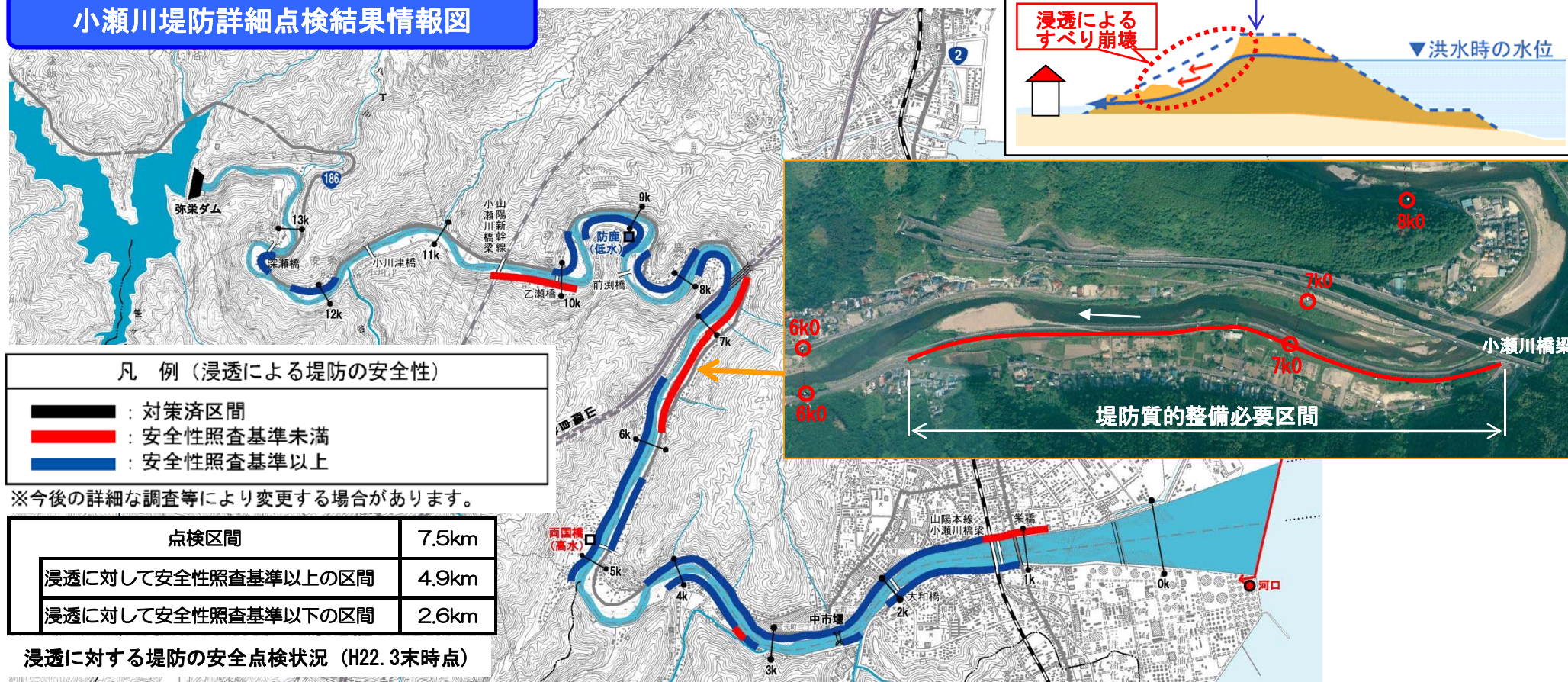
1. 浸水想定氾濫区域



2. 堤防質的整備必要区間

- 古くから干拓による築堤から始まった小瀬川の堤防は、過去から嵩上げや断面拡幅が繰り返される
- 雨水や河川水の浸透、堤体基礎に浸透性の高い砂礫層の区間があることで、浸透による堤防の崩壊が懸念される
- 堤防の浸透への対策が必要

小瀬川堤防詳細点検結果情報図



3. 穂仁原子どもの水辺（水辺整備）

- 穂仁原子どもの水辺協議会を結成し、子供達や地域の意見を整備に反映
- 地元自治体、地元住民と管理協定を締結し、定期的に清掃活動や地域活動が行われるとともに、伝統行事の「^{ひなな}雛流し」を行う貴重な場所の一つ



穂仁原子どもの水辺整備状況



▲環境学習、雛流し場（水辺の利用状況）



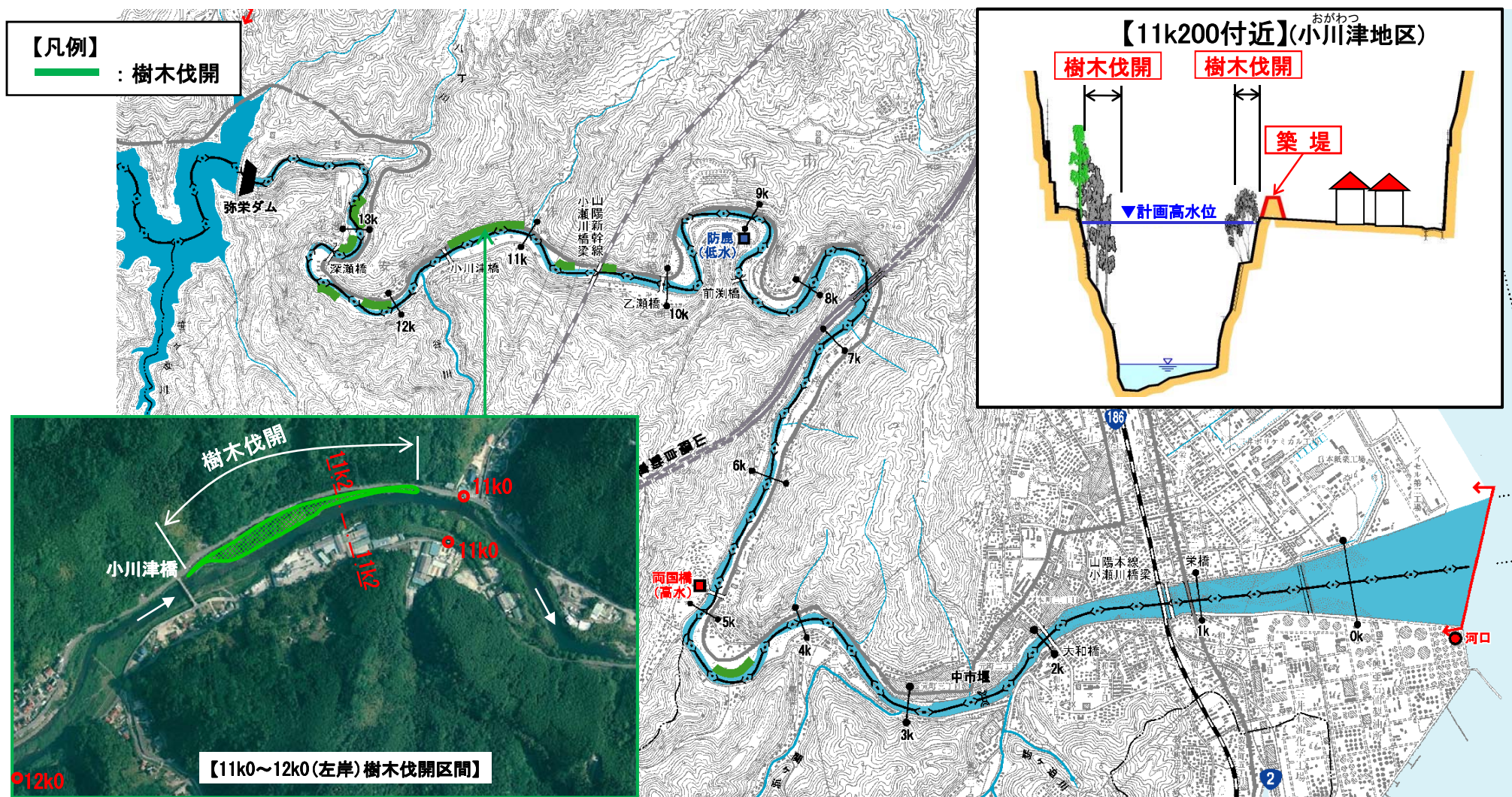
▲キジの放鳥（広場の利用状況）



▲清掃活動状況

4. 流下能力不足、樹木伐開

- 流下能力が不足していることから、維持管理として河道内樹木の伐開により河積の確保が可能
- 無堤部については、堤防の整備により越水被害を防ぐことが可能



やさか 5. 弥栄ダム（治水・利水・河川環境）

弥栄ダムは、一級河川小瀬川の広島県大竹市および山口県岩国市の境に、洪水調節、流水の正常な機能の維持、都市用水、発電を目的として建設された重力式コンクリートダムである。

【ダムの諸元】

堤 高 : 120.0m

堤 頂 長 : 540.0m

集水面積 : 301.0km²

湛水面積 : 3.6km²

総貯水容量 : 112,000,000m³

有効貯水容量 : 106,000,000m³

堆砂容量 : 6,000,000m³

【ダムの目的】

1. 洪水調節

ダム地点の計画高水流量2,600m³/sのうち、1,700m³/sを調節し900m³/sとし、ダム下流の洪水被害の軽減を図る。

2. 都市用水（水道用水・工業用水）の開発

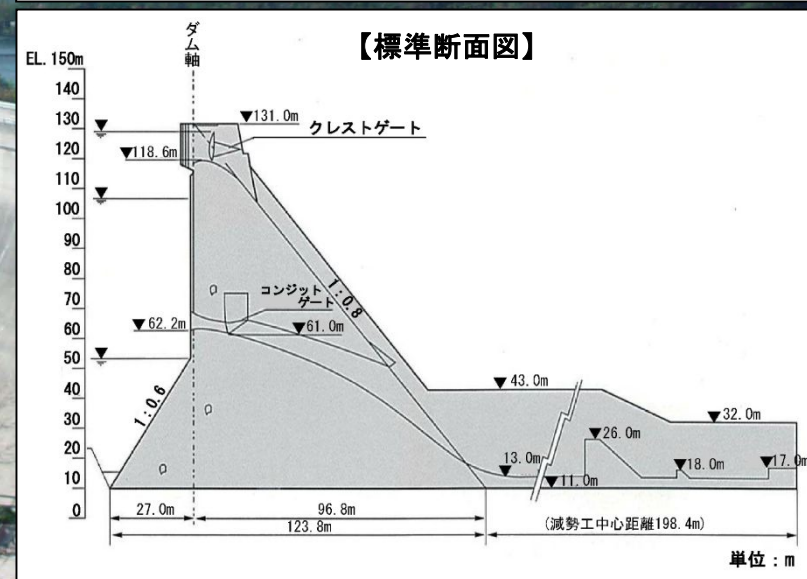
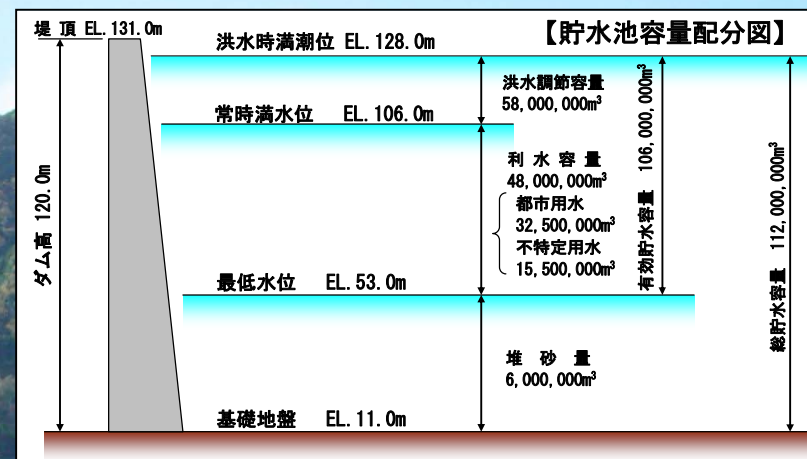
181,000m³/日（水道用水:110,500m³/日、工業用水:70,500m³/日）の都市用水を周辺都市に供給する。

3. 流水の正常な機能の維持

ダム下流及び小瀬川に必要な流量を確保し、河川の利用や生態系などに影響を与えないようにする。

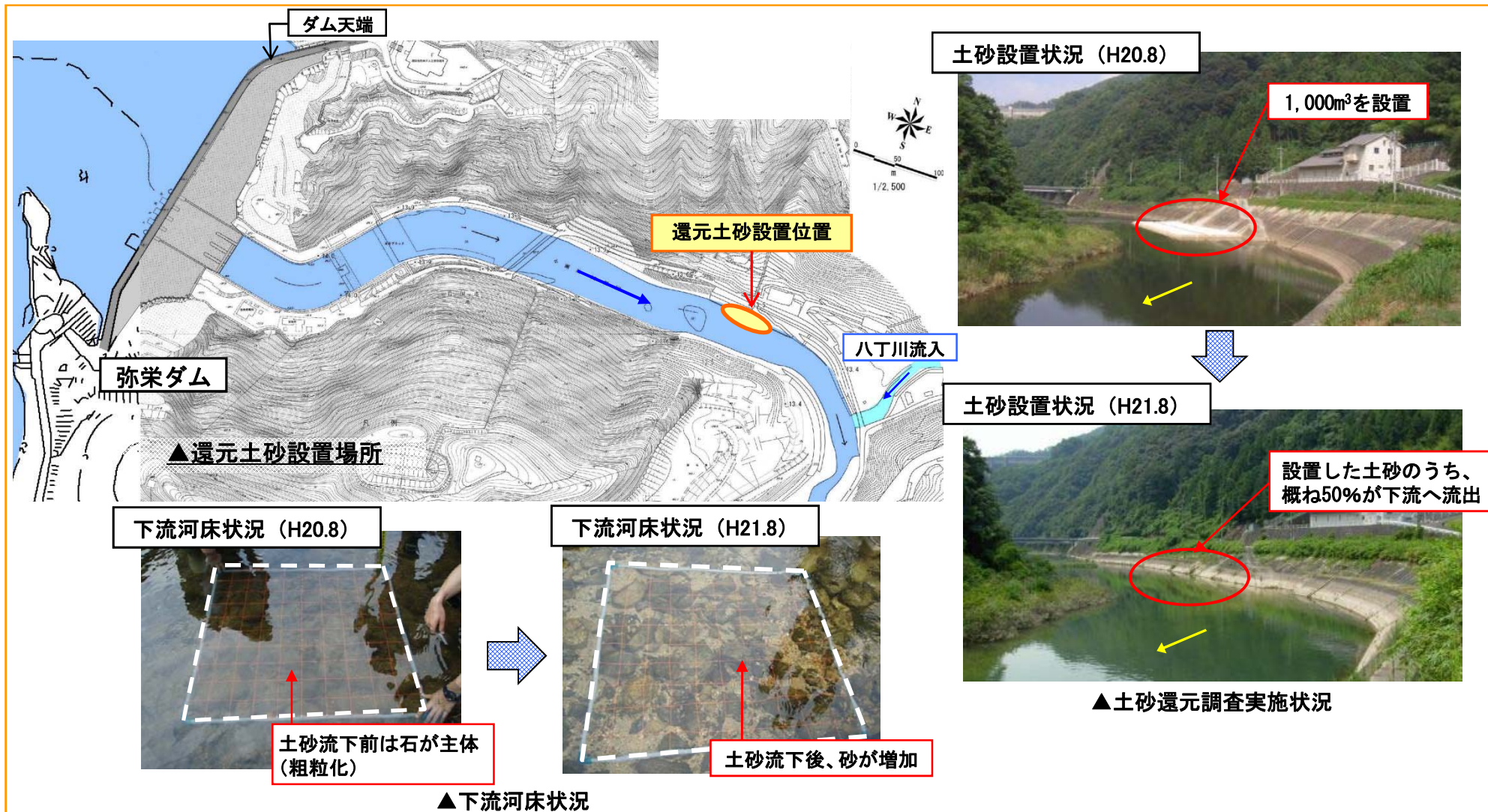
4. 発電

中国電力株式会社弥栄発電所により、ダムの放流水の落差を利用して、最大出力7,000kw、年間発電電力量21,574MWhの発電を行う。



6. 土砂管理

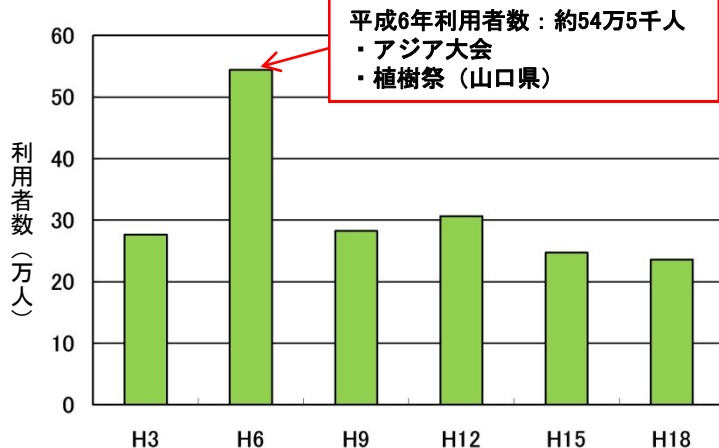
■ 弥栄ダム下流河道には、局所洗掘の発生や河床材料の粗粒化等により河川環境に影響を及ぼしている区間があり、弥栄ダムでは土砂還元などに取り組んでいる



7. 明神原なごみ広場（河川環境・地域連携）

弥栄湖センターゾーン

- 近年の弥栄ダム周辺の年間利用者数は約23万6千人（H18推計値）
- 広島県側には、キャンプ場等のイベント広場、山口県側には広場、公園等の利用施設が整備されている



▲ 弥栄ダム周辺年間利用者数の推移

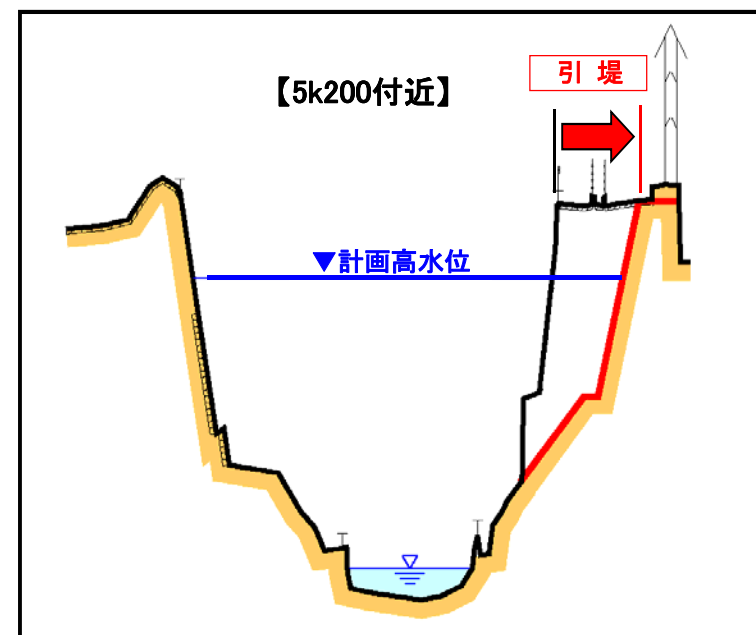
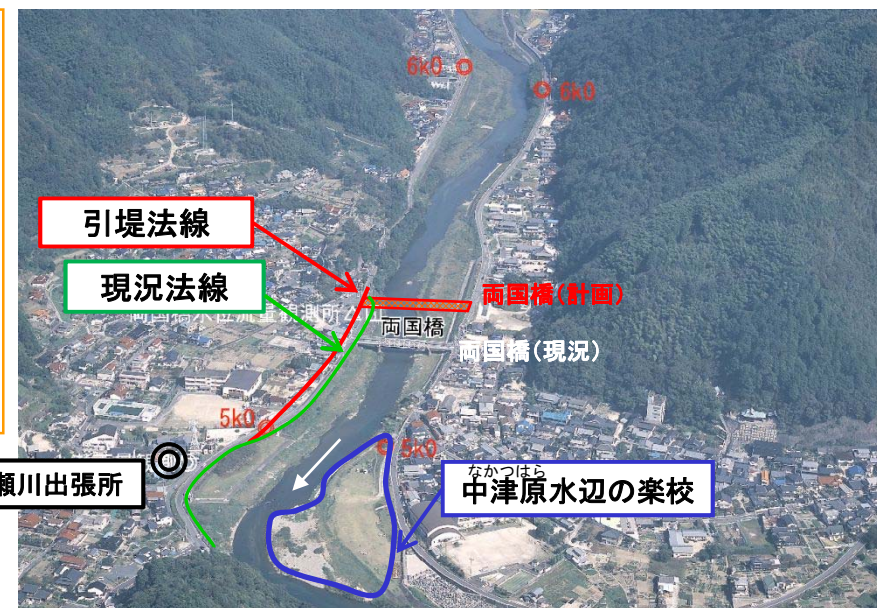
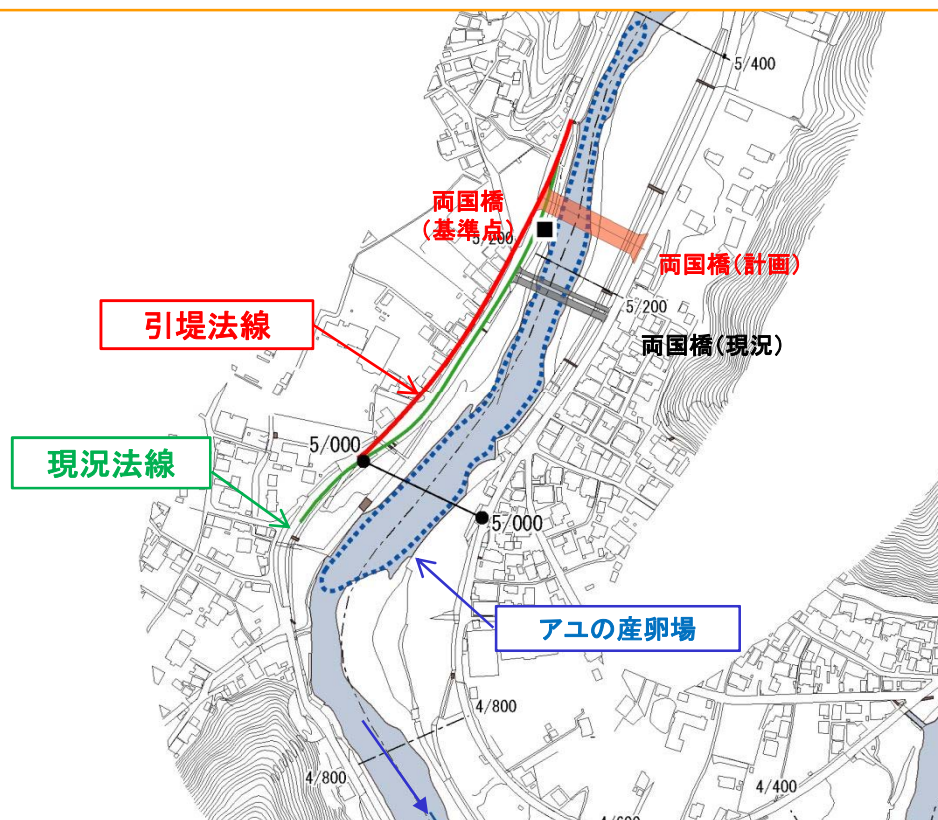
くろざわ
黒沢グラウンド利用状況（美和サンチャロウまつり）



みょうじんばら
明神原なごみ広場利用状況（桜まつり）

8. 流下能力不足、引堤

- 基準地点両国橋付近は河積不足のため、引堤により河積の確保が可能
- 両国橋架替計画が現在あるので、道路改修と連携して実施することが有益
- 両国橋周辺はアユの産卵場となっており、河道改修にあたっては配慮が必要



9. 中津原水辺の楽校（水辺整備）その1

- 中津原地区では地元協力（水辺の楽校推進協議会）により「水辺の楽校」が整備され、環境学習、散策や魚釣り、雛流し等に利用
- 地元自治体等と管理協定を締結し、除草や清掃活動などの管理を実施
- 両国橋下流右岸の露岩部に、水系下流端となるキシツツジ群生地（改訂 広島RDB 準絶滅危惧種）が分布



▲環境学習



▲雛流し



▲清掃活動状況



▲蛇行部の露岩とキシツツジ群生地



9. 中津原水辺の楽校（水辺整備）その2

【中津原水辺の楽校周辺の史跡】

大竹市の史跡

この

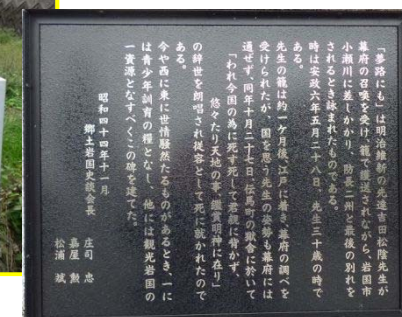
▼「木野渡し場」の古図



吉田松陰歌碑

「夢路にも帰らぬ関を打ち越えて
今を限りと渡る小瀬川」

▲吉田松陰の歌碑



▲吉田松陰の歌碑（説明文）

10. 中市堰 (治水・利水)

- 中市堰はH5年に小瀬川の流下能力の確保、塩害の防止、取水位の確保を目的として改築された可動堰
- 近年、ヘドロ堆積による水質の悪化、悪臭、魚類等の減少、底質除去を地域よりご意見をいただいている
- 中市堰は農水、工水の主要な取水ポイントとなっている



▲中市堰（平常時：ゲート起立状態）



▲魚道



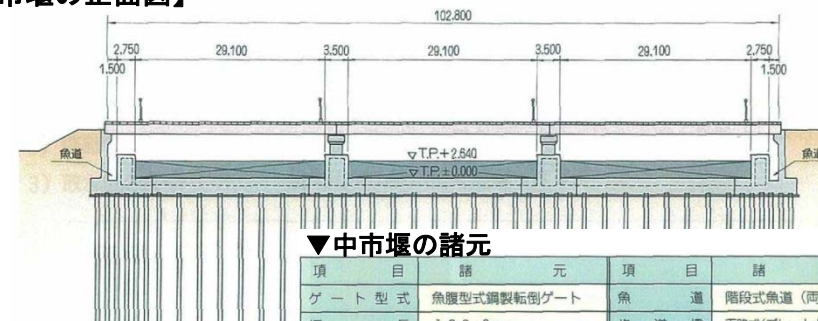
▲和木町農業用水取水樋門
(2k620右岸)



▲大竹市農業用水取水樋門
(2k620左岸)



【中市堰の正面図】



▼中市堰の諸元

項目	諸元	項目	諸元
ゲート型式	魚腰型式鋼製転倒ゲート	魚道	階段式魚道（両岸に設置）
堰長	102.8m	歩道橋	下踏式（プレートガーダー1桁橋）
ゲートの総延長及び門柱	29.100m×3門	工期	昭和60年度～平成5年度
ゲート高	2.640m	事業費	約47億円

▼中市堰の貯水地内から取水している利水施設一覧表

No.	水利使用目的	距離標	施設名	取水者
1	農業用水	2k620右岸	和木町農業用水	和木町
2		2k620左岸	大竹市農業用水	大竹市
3	工業用水	2k800左岸	日本大昭和板紙(株)工業用水	日本大昭和板紙(株)
4		3k550左岸	三菱レイヨン(株)工業用水道	三菱レイヨン(株)
5		4k040右岸	山口県小瀬川工業用水道	山口県小瀬川工業用水道事務所

1 1. 河川管理用通路（水辺整備）

■ 河川管理用通路が整備され、ウォーキングロードとして利用



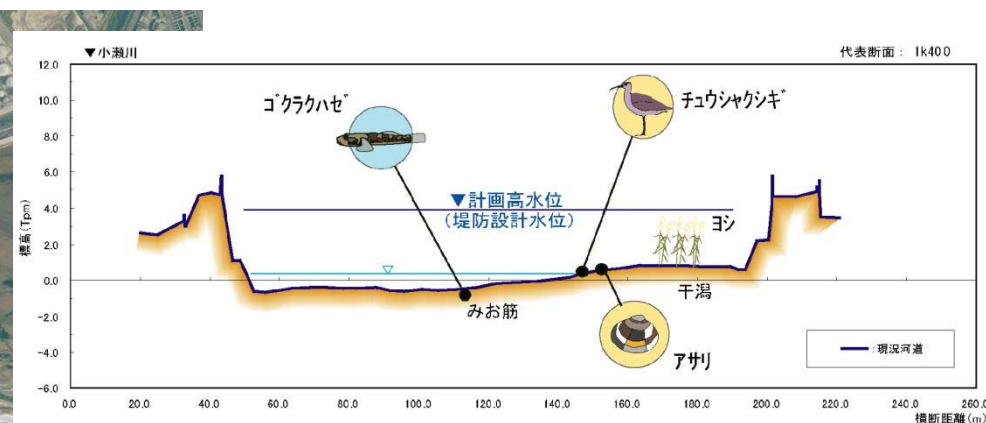
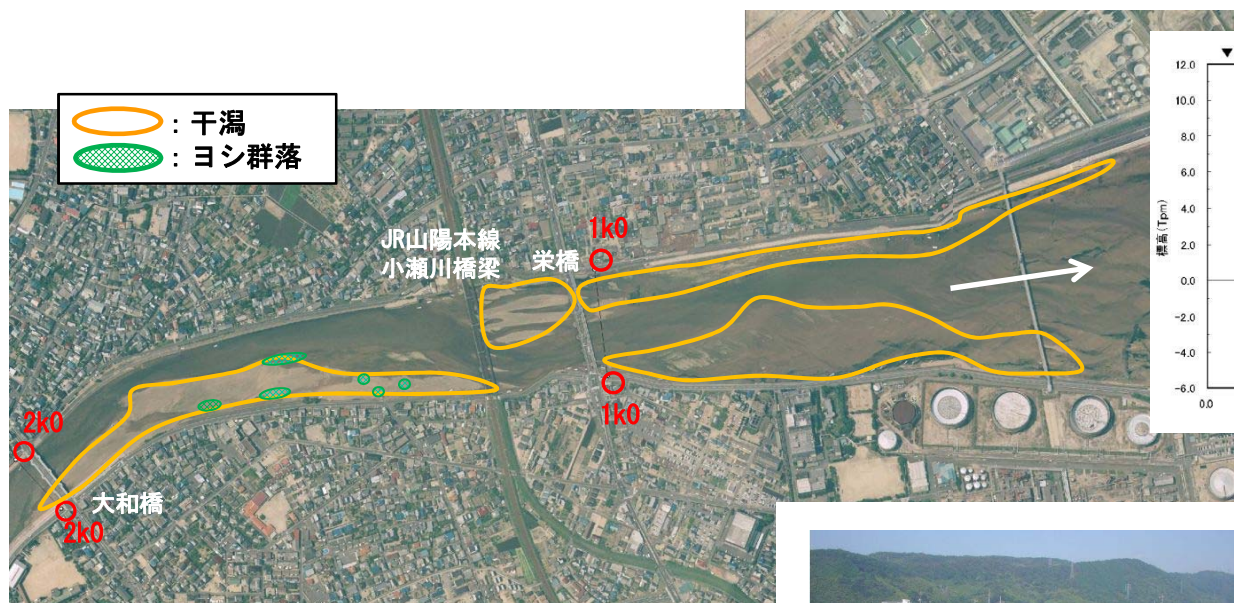
▲大和橋下流右岸（河川管理用通路）



▲大和橋下流左岸（河川管理用通路）

12. 干潟・塩生植物（河川環境）

- 広大な砂質干潟
- アサリ、ゴカイ類等の多様な底生動物やゴクラクハゼ等の回遊魚が生息、それらを捕食するシギ類等の鳥類が利用している
- 河口部には植生が殆どみられないが、塩生のヨシ群落が生息域に分布
- ハゼ釣り、潮干狩りの場として利用



▲ヨシ群落



▲潮干狩り

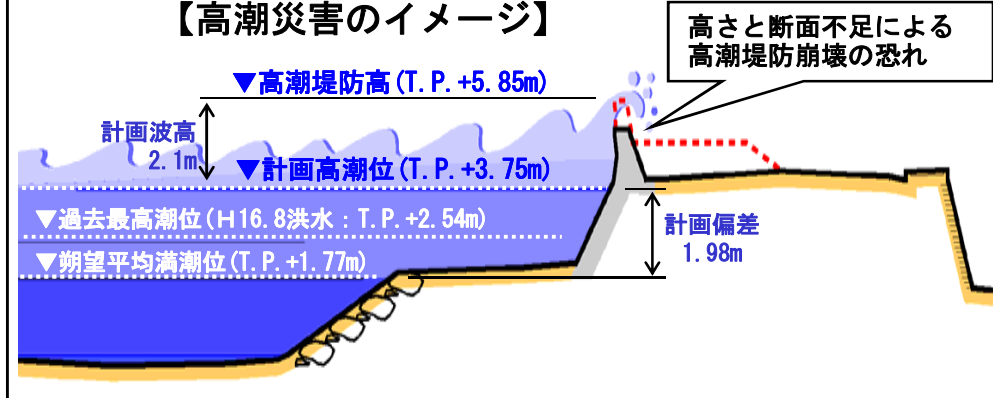


▲アサリ

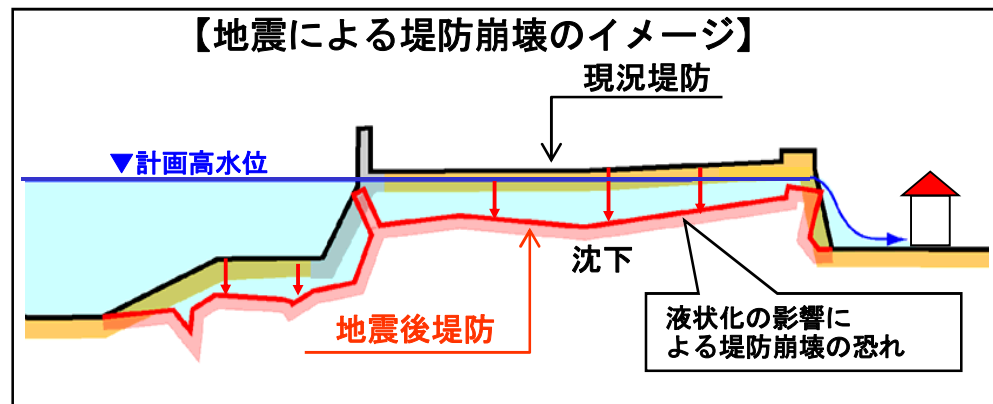
13. 高潮堤防区間

- 昭和30年代に整備されており、高さや断面が不足する区間については、高潮対策が必要
- 地震による堤防の崩壊により浸水被害が想定される箇所については、耐震対策が必要

【高潮災害のイメージ】

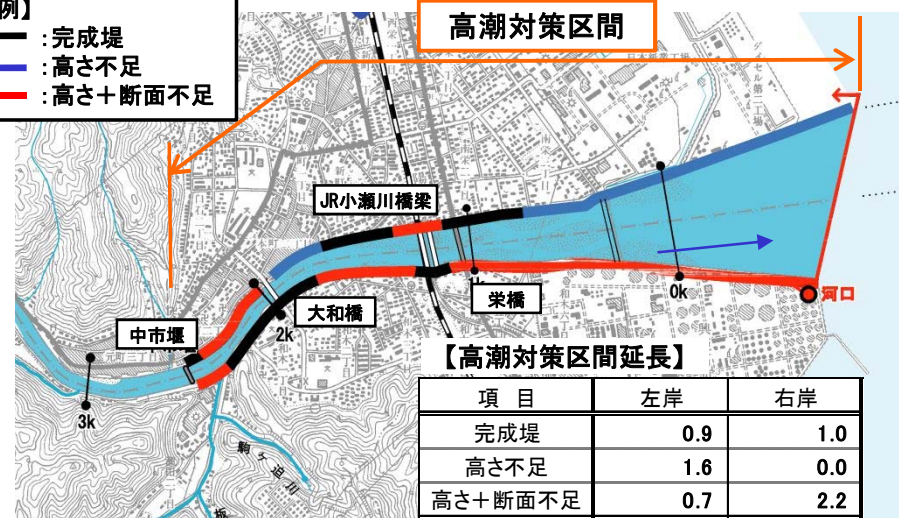


【地震による堤防崩壊のイメージ】



【凡例】

- : 完成堤
- : 高さ不足
- : 高さ+断面不足



出典) 重要水防との比較 (H22.3末時点)